



Study Abroad Experience in

KYORITSU

Ver.3

佐藤雄一学長からのメッセージ

共立女子大学・共立女子短期大学は、より一層の国際交流を進めるために、2024年4月に国際交流センターを開設しました。留学生の受け入れや海外への送り出しが国際交流センターの仕事の大きな柱になっていますが、学内での国際交流にも力を入れています。昼休みには、フランス語や中国語、英語、日本語のトークルームを開催し、留学生が気軽に交流できる機会を作っています。留学生同士が親しくなれたり、他学部の学生とも知り合いになれるので、学生生活を充実させることができますと思います。国際交流センターでは留学生に対するさまざまなサポートを行っていますので、学習面や生活面などで気になることがあったら、気軽に相談してください。交流できるスペースもあるので、みなさんが積極的に国際交流センターを活用してくださることを期待しています。



国際交流センター員

ホスキンス教授からのメッセージ

本学では、留学生向けに充実した日本語プログラムを提供しています。学内では日本人学生との日常的な交流を通じた会話力の向上のための「日本語トークルーム」や、チューターによる日常生活のサポート体制も整っています。2号館5階のグローバルcommons内にある国際交流センターには教職員が常駐しており、ビザの更新サポートも含め、ご相談を受け付けています。隣接するラーニングcommons内のフリースペースは、留学生や留学希望者の集いの場としても活用されており、新入留学生が円滑にコミュニティへ溶け込み、充実した留学生活を送れるよう支援しています。ぜひ、本学を留学先の選択肢としてご検討ください。



大学の学部紹介

家政学部

生活に不可欠な「衣」と「食」を科学的に追求し、専門知識と実践力の両方を身につけます。専門資格取得を目指すカリキュラムが充実しており、人々の健康と豊かな生活を支えるプロフェッショナルを育成します。

文芸学部

メディア、文化、言語・文学、芸術の4つの領域と、さらに多様な7つの専修で、文学、文化、芸術を深く探求します。幅広い分野の学びを通じて、豊かな教養と表現力を養い、自由な想像力を磨き、社会で活躍できる心豊かな文化の担い手を育成します。

国際学部

世界で通用するコミュニケーション能力と異文化理解を核に、実践的な国際プログラムを提供しています。異文化間の架け橋となる活動に必要な能力や、グローバル社会の課題解決に貢献できるリーダーシップを身につけることに重点を置いています。

ビジネス学部

経済学・経営学の基礎から実社会での応用力を習得し、変化の激しいビジネス界で活躍できる人材を目指します。論理的思考力とリーダーシップ教育により、社会に通用する実践力を身につけ、将来のキャリア形成を強力にサポートします。

建築・デザイン学部

建築・インテリア・まち・グラフィック・プロダクトの各分野で、人や環境を理解し、美術センスと技術を習得します。そして、それらを統合し形として表現する力を身につけます。「デジタルクリエイションラボ」には3DプリンターやVR機器、大型プリンターなどを備えており、学生の創作活動を力強くサポートする環境が整っています。

2026年度 新学部

児童学部

保育・教育の専門的な知識・技能に加え、現代社会に対応できるリーダーシップを育みます。総合大学の利点を活かした幅広い学びと、きめ細やかな学生支援のもとで、小学校教諭、幼稚園教諭、保育士といった子どもの成長を支えるプロフェッショナルを目指せます。

その他の設置学部：看護学部

短期大学の学科紹介

生活科学科

「ITメディア」と「生活デザイン」の2コースで、生活を豊かにする実践力を身につけます。CG・Web・IT、食と健康・ファッション・インテリアなど、興味のある分野を横断的に学びながら、ビジネススキルや創造力を養います。多彩な学びで、あなたの可能性を上げます。

文科

日本文化・表現/グローバル・コミュニケーション/心理学の3コースにて、TOEIC®高得点など短期間で高い語学力を身につけられるほか、図書館司書(国家資格)、社会福祉主事(任用資格)を2年間で目指せます。日本語教育を専門とする教員・助手が常駐し、留学生をサポートいたします。

留学生入試の詳細は、
本学HPよりご確認ください >>



大学

短期大学

留学生プロフィール①



名前: 楊 雅蘭さん
 所属: 文芸学部 3年
 出身: 中国
 出身校: ヒューマンアカデミー日本語学校

タイムスケジュール

8:30 起床
 11:00~12:40 授業
 12:40~ 昼食
 13:30~15:10 授業
 15:20~17:20 2号館5階のラーニング・commonsで勉強
 17:30~19:10 授業
 19:10~ 帰宅

待ち時間が短くて済むので、私は本館の食堂で食べるのが好きです

充電できるし、プライベート感があって、椅子も柔らかいので快適です!

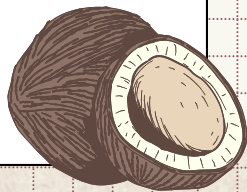
-5限の授業をピックアップ-

村井 華代 先生の『劇芸術概論B』

「なぜ学校に行くのか」「なぜ勉強をするのか」という言葉の本当の意味を理解しました。この言葉は一見すると少しきれいごと聞こえるかもしれませんが、先生の授業を通して、その重みを実感しました。先生はよくご自身の経験や、社会・世界・政治に対する考えを語ってくださいます。その熱意は本物で、私たち一人ひとりが「自分には関係ないこと」と無関心でいてはいけないということを強く感じさせられました。社会に目を向け、世界を感じることも。もしかしたら、それこそが「学ぶ」ということの本質なのかもしれません。もし一人ひとりがそんなふうに世界を考えられるようになったら、きっと世界はもっと良くなると思います。



ゼミの皆とのパーティーも
 良い思い出です



共立への入学を決めたきっかけ

まず、私が共立女子大学に入りたいと思った理由は、女子大学の環境が良さそうと感じたからです。それに、中国人の学生が少ないので、日本語を使う環境が整っていて、語学力を伸ばすにはぴったりだと思いました。次に、文芸学部のカリキュラムを見て、どれも自分の興味がある内容だったのも大きな理由です。私は小さい頃からメディアに関する勉強がしたいと思っていました。

オススメの授業

私は文芸学部のメディア専修に所属していて、興味深い授業がたくさんあります。たとえば、美術に関する授業である「日本・東洋美術史概論」や「日本美術史論」は、まるで美術館で先生が一つ一つの作品について解説してくれているような感じで、とても面白いです。また、「芸術メディア演習」では撮影や編集を実際に行い、映像制作の流れを学ぶことができ、楽しいです。

女子大を選んだ理由

私はもともと女子大学にしか行きたくないと思っていましたが、女子大学に通うことで、将来社会に出て他の人たちと関わるのが苦手になるのではないかと、という不安も少しありました。でも、大学ではジェンダーに関する授業も多く、フェミニズムの歴史や考え方を学ぶことができますし、リーダーシップに関する授業では、チームメンバーとの協力やコミュニケーション能力も鍛えられるので、心配しすぎなくても大丈夫だと思っています。

入学して感じた共立の魅力

女子大学は全員が女性なので、クラスメイトとも話やすく、先生たちもとても優しく、たとえ日本語があまり上手じゃなくても、理解してくれて、話すことを応援してくれます。

これから留学する学生へのメッセージ

来日での生活は本当に楽しいです! 学校のバイトや活動にもぜひ参加して、たくさん思い出を作ってください!!

留学生プロフィール②

名前: 張 雨辰さん
 所属: 国際学研究所 2年
 出身: 中国
 出身校: 早稲田言語学院



タイムスケジュール

8:30	起床
9:00~	朝食
10:30~	授業準備
11:00~12:40	授業
12:40~	食堂で昼食
13:30~15:10	授業/院生室で自習
17:00	帰宅、自由時間 (ギターを弾きます)
18:30-20:00	夕食 家族と犬とのビデオ通話をします!
20:00~	自由時間
課題に取り組んだり、発表レジュメの準備をしたりします。 好きな本を読んだり、ゲームをしたりTikTokを見たりとゆっくりも!	
23:00~	シャワー
23:40	就寝



入学前の日本語学習歴

中国で通っていた大学では国際ジャーナリズムを勉強していました。大学2年生の時に日本語の授業を受けたことがきっかけとなり、日本語に興味を持ちました。その後の大学の授業で日本語を学ぶ機会はありませんでしたが、渡航前に中国で3か月間塾に通い、日本に来てから早稲田言語学院で1年半勉強しました。共立の入試の直前に日本語能力試験N1に合格することができました。

オススメの授業

1年次前期に受講していた「国際学 研究入門」や現在受講している「ジェンダーとリーダーシップ」は輪講科目※1で、特にお勧めです。先生方の研究分野を知ること、専門とする先生への相談が出来るようになりました。他の大学院生と知り合える貴重な機会でもありました。 ※1 毎回先生が変わる授業

学修における苦勞・対処法

日本語学校では日本語を学び、インプットが中心の授業でした。しかし、大学院では日本語で学び、アウトプットが中心となるので、入学当初は戸惑いました。縦書きの文章は読みにくかったため、たくさん読書して慣れるようになりました。キャンパスのある神保町は本屋さんがたくさんあるので、すべての本屋さんに行ってみることも楽しみにしています。本屋さんで手に取れるからこそ、興味のあるおもしろい書籍にも出会えました。

一人暮らしをしていて日本語を聴く機会も少なかったため、通学中や食事中などに時間を見つけてはドラマやバラエティーの日本語を聴くようにしていました。

入学後2か月くらい経ってからは、だいぶ慣れて授業にも支障なくついていけるようになりました。

共立での思い出

入試の面接でもお世話になった菅野先生には入学後も優しく接していただいています。中国語も堪能なので、時には中国語で思考のヒントをいただくこともあります。いつも笑顔の菅野先生は私と一緒に、食に興味がある先生なので、神保町の美味しいお店も紹介してくれます。天ぷらで有名な神保町の老舗店「はちまき」を紹介して下さったのも菅野先生で、友人と何度も通っています。中国語を学ぶ日本人学生と交流をさせていただいたことも良い経験となりました。



キャンパスの好きな場所

大学院の院生室がお気に入りの場所です。自分専用のスペースがあるので、勉強する時には、いつも使っています。

入学して感じた共立の魅力

共立の全部が大好きです。女子大だから学内もきれいで、食堂もおいしいです。でも、一番重要なことは、先生がとても優しいことです! 指導教員の上田先生はいつも親切で、研究分野の資料や論文を探ることを手伝っていただいています。それ以外の先生からも様々なアドバイスをいただいています。大学院生には研究助成費がいただけるので、高価な専門書を購入する際にとっても助けられています。

共立への入学を決めたきっかけ

早稲田言語学院で先生に薦められたことが共立を知るきっかけとなりました。「国際学研究所」という名前を見ただけでは、興味のある分野を十分に学ぶことが出来るか分からなかったため、公式HPを見ました。先生方の研究内容が多岐にわたっていたため、多様な観点からのご指導が受けられると考えて入学しました。

これから留学する学生へのメッセージ

共立での生活はとて楽しく幸せです~ いろいろな交流活動もありますよ! 先生も優しく、自分が好きな研究もできます。機会がありましたら、ぜひ体験してみてくださいね~

留学生プロフィール③



名前: 張潤玉さん
所属: 国際学研究所 2年
出身: 中国
出身校: 早稲田文化館

タイムスケジュール

6:30	起床
7:30~12:30	スーパーでアルバイト
12:40	電車に乗って通学
13:30~15:10	授業履修
16:00	スーパーにお買い物
17:00~19:00	夕食の支度とお食事
20:00~22:00	学校の課題やレポートを書く
22:00~23:30	自由時間
23:35	就寝



友人と一緒に屋上で近隣レストラン「バンコックコスモ食堂」のガパオライスを食べました。屋上からはラクアも見えて、お天気の良い日はとても気持ちよく過ごせます。

大学院生皆で一緒に作った「お菓子コーナー」ファミリーのような仲です。



共立での出逢い

留学生以外の友人もできました。チューター-の学生や友人のチューターとは、皆で一緒に神保町の老舗である天ぷらの「はちまき」に行ったりして、楽しく過ごしています！チューター-制度は日本語のさらなる習得や、日本人の方々と交流を深めるうえで非常に有益だと感じております。



共立への入学を決めたきっかけ

国際学研究科のちらしを見たことがきっかけとなり、興味を持ってHPを検索しました。日本語教育、日本語学を学べることを知り、入学を決意しました。都心の伝統がある大学で、女性の先生が多い点も魅力と感じていますが、教職員や先生は男女ともにいらっしゃいます。皆さま本当に親切で、質問や悩みに対して常に真摯に向き合い、全力で対応して下さいます。私がこれまで授業を受けたり交流した先生方（特に自分の指導教員の先生）は、常に学生の立場に立って物事を考えてくださり、その姿勢には心から感謝しております。このような経験は、学生時代だからこそ得られる貴重なものであり、将来社会人になってからもきっと懐かしく思い出し、そのご恩を忘れることはないと思います。

日本語学修で直面した困難

2023年1月に来日し、日本語学校に1年3か月通ってから大学院へ入りました。日本語能力試験N1には来日後1年経たずに合格できましたが、日本語学校では初級レベルだったため、留学や日本語修得の厳しさを感じました。

入学して感じた共立の魅力

自分のイメージしていた通りの大学院生活が過ごせています。研究環境が整っていて、どの先生にも支えてもらっていると感じています。話すスピードが速い先生の授業についていくのは大変だったけれど、先生方は親切で、聞き返したら何でも、そして何度でも丁寧に教えてくれます。キャンパスもきれいで、特にトイレが清潔で、快適に過ごせています。

日本語学習歴

中学生くらいから、日本語のアニメを日本語音声・中国語字幕で見っていました。『NARUTO』、『クレヨンしんちゃん』、『カードキャプターさくら』や『名探偵コナン』など、いろいろな作品を見ていたので、日本語の音には慣れていました。中国の大学では、日本語を専門として学んでいました。

これから留学する学生へのメッセージ

留学中、迷うことは誰にでもありま
それでも、自分が選んだ道と口にした
決断を信じ、最後まで貫いてください！
その経験は、きっと自分を成長の力になります。

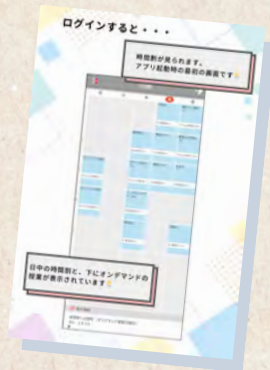
PICK UP!

留学生向けサポート① 入学前教育

入試を乗り越え、入学が決まった皆さんは、高い日本語能力を備えています。しかし、入学後の新しい環境に慣れることは、母国であっても決して簡単ではありません。ましてや、親元を離れ、外国で生活する留学生にとっては、不安を感じる場面も多いことでしょう。

本学では、留学生の皆さんが少しでも早く大学生活に馴染めるよう、留学生や日本人学生の先輩からアドバイスを受けられる機会として、入学前教育を設けています。キャンパスツアーや学内システムの使い方に関するレクチャーを行うほか、ランチを囲みながら、他の新入留学生と交流する時間も用意しています。

2025年度入学前教育の様子



入学前は不安がありましたが、先輩と話す機会があったことで気持ちが楽になりました。「あまり緊張しすぎなくて大丈夫」と思えるようになり、安心して入学準備を進めることができました。キャンパスツアーでは、大学生活について具体的なイメージを持つことができ、とても参考になりました。また、日本語の授業で出会う他の新入生たちと、入学前に友だちになることができたことも心強かったです。

2025年度入学
国際学部 スルヤチ ジハンさん

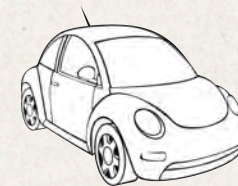
PICK UP!

留学生向けサポート② 進路支援

キャリアセンターでは、進路に関するサポートをしています。入学時から皆さんが将来の進路を考えるためのガイダンス・対策講座を用意しており、留学生のみを対象とした講座もあります。また、キャリアカウンセラーとの個別相談では、進路の相談や書類の添削、面接の練習などを行うことができます。



陳 禹秀さん
(文芸学部2024年度卒業生)



就職先：
株式会社オートボックスセブン
現在の職務：
経理・総務業務、給与支払

海外事業部への配属を期待していましたが、私の最初のキャリアは、意外にも総務・経理グループでのスタートとなりました。毎月の支払い処理や、社用車・備品の管理などを担当していました。

実は、大学院進学から急遽就職へと進路を切り替えたのですが、3ヶ月という短期間で内定をいただくことができました。これは、内定先の企業の中期計画で『外国籍社員の比率を一定以上に高める』という明確な目標を掲げていたため、チャンスだ！と狙いを定めた計画的な行動の結果だと考えています。就職活動では、何よりも情報を集めることが鍵となります。

大学のキャリアカウンセラーの方々には、面接の原稿を何度も見ていただき、面接官が必ず尋ねる「深掘り質問」への対応を、一緒に準備していただいたことが、自信につながりました。

皆さんも、大学や周囲のサポートを最大限に活用し、日本での就職という目標に向かって、諦めずに挑戦し続けてください。応援しています！

その他の留学生の声はHPからチェック！

国際交流・留学HPトップ

共立女子大学・共立女子短期大学HP

⇒国際交流・留学

⇒留学生の受入 ～外国人留学生の方へ～



コンセプトムービー

本学の理念や大切にしていることを理解できる動画です。
どのようなサポートを受けることができるか確認してください。



コンセプトムービー (short-ver)

41秒の短い動画で本学のイメージをつかんでください。
※上記コンセプトムービーのショートバージョンです。



説明ムービー

共立の学生の生の声を聞くことの出来る動画です。
先輩たちの声から共立女子での学びについて知り、魅力を感じてください。

アクセス

共立女子大学・共立女子短期大学



〒101-8437 東京都千代田区一ツ橋2-6-1
2号館5階 国際交流センター

<https://www.kyoritsu-wu.ac.jp>

お問い合わせ先：koryu@kyoritsu-wu.ac.jp

03-3237-2789

公式HPはこちらより



※こちらのガイドの情報は2026年1月時点のもので、変更となる場合があります。

デザイン：清水月乃、上村曉実